

北海道 JAピンネ、ホクレン (酒米をノルウェーへ)



日本酒を製造するノルウェーの地ビール製造会社に、北海道の酒造好適米「吟風」(JAピンネ産)を輸出。

ノルウェーで醸造された日本酒は、北海道を含む国内外で売り出す予定。

平成21年度輸出量: 3トン

【輸出のきっかけ】

日本における「吟風」の高い品質・評価を知ったノルウェーの地ビール製造会社社長が、自ら北海道まで足を運んだことがきっかけとなった。

当初、ノルウェーに「吟風」の種を輸出し、自国で栽培する計画であったが、北欧の気象や日照時間の点から栽培を断念し、日本産酒米の輸出を行うことになった。

【輸出によるプラスの効果等】

良い酒米の条件は、大粒でタンパク含有量が少ないこと。そして、良い麹米になるために欠かせない心白が米粒にあること。北海道の酒米「吟風」はその基準を十分に満たし、その味わいは高く評価されており、栽培に対し生産意欲が喚起されている。



酒造好適米の
北海道代表。

吟 風
ぎんぶう

【ウェブサイト】 ホクレン農業協同組合連合会
<http://www.hokuren.or.jp/>